

とみだていーんず NO. 10

名古屋市富田図書館
令和2年7月7日発行

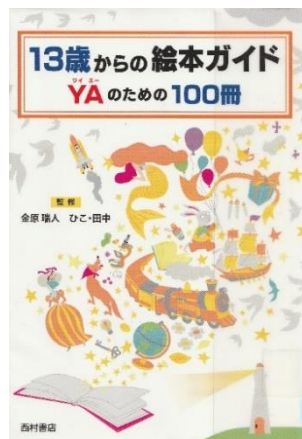
みなさん、こんにちは！
富田図書館です。

この“とみだていーんず”は、
ティーンズ（概ね中学生以上の10代の方）向けの広報紙です。

新しく入った本の紹介、図書館で行うイベントの案内などを
載せて、年4回発行します。



図書館買おすすめの本



『13歳からの絵本ガイド YAのための100冊』
金原瑞人／監修 ひこ・田中／監修 西村書店 2018. 4

子どもの頃は手にする機会が多かった絵本でも、成長するにつれ読む機会が減ってしまう。

この本には、10代の子や大人にもぜひ読んでもらいたい！という絵本がたくさん紹介されている。

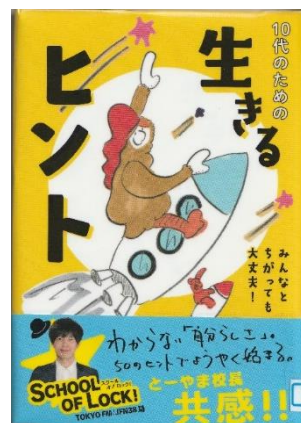
あなたの心に響く作品がきっと見つかるはず。

『10代のための生きるヒント みんなとちがっても大丈夫!』

笹田夕美子／著 シヤスタインターナショナル 2019. 12

いやなことがあった日や、友達と上手くいかない、将来が不安…。そんな悩みがある10代の子に読んでほしい。

「まあ、いっか。死ぬほどのことではない。」と考えたり、「苦手な人からは離れてもいい」と思ったり、自分の悩みを解決してくれるヒントが見つかる本。





課題図書

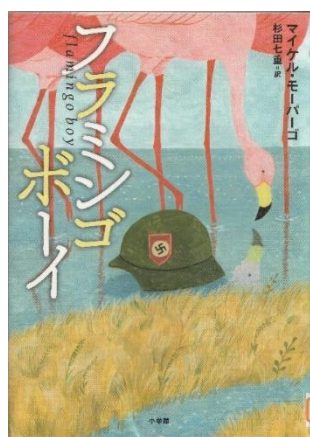
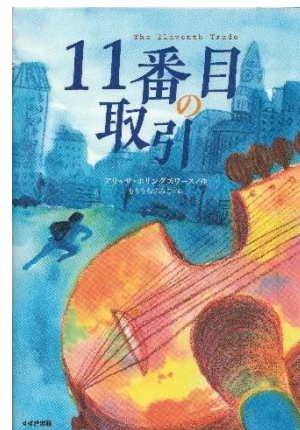


『11番目の取引』

アリッサ・ホリングスワース／作 もりうちすみこ／訳
鈴木出版 2019. 6

祖父とアメリカで生活をする難民の少年サミ。学校帰りに、故郷アフガニスタンの伝統楽器ルバブが盗まれてしまう。取り返すには4週間以内にお金を用意しなければならない。手持ちの物から取引を重ね、必要額を目指していく。サミは大切なルバブを取り返せるのか…？

取引をしていく中で関わる人々にも注目の一冊。



『フラミンゴボーイ』

マイケル・モーパーゴ／作 杉田七重／訳
小学館 2019. 10

ナチスが猛威をふるう第二次世界大戦中。人と話すことは苦手だが、動物と心を通わせることができる少年ロレンゾ。少数民族で迫害を受けている少女ケジア。二人は出会い友情を深めていく。

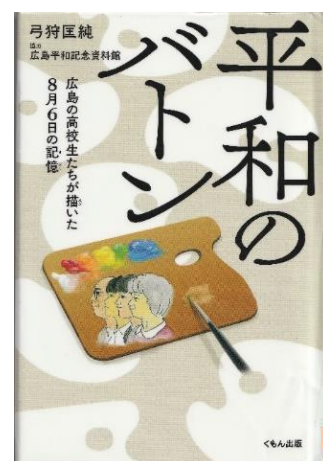
ドイツ兵による侵略の被害を受けながらも、助け合い生きていく二人とその家族の物語。

『平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』

弓狩匡純／著 くもん出版 2019. 6

美術を学ぶ広島の高校生たちが2007年にスタートした「次世代と描く原爆の絵」プロジェクト。「このままでは、原爆のことが忘れられてしまう」と勇気を振りしぼって話しはじめた被爆者の見た光景を、高校生たちが絵にしている。

平和な広島で今を生きる高校生たちが戦争や原爆を見つめなおしていくさまを取材し、平和について考えていくノンフィクションの物語。



名古屋市富田図書館ティーンズ広報紙 とみだていーんず NO.10 令和2年7月7日発行

名古屋市富田図書館 《指定管理者》ホームックス株式会社名古屋支店

〒454-0976 名古屋市中川区服部3-601 TEL 052-432-5313 FAX 052-432-5314

※開館状況につきましては、名古屋市図書館HPをご覧ください。

名古屋市図書館HP <http://www.library.city.nagoya.jp>

この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

